

総務経済委員会次第

令和8年1月8日
午前10時開議
301会議室

報告事項

その他の

第1回 タウンミーティング実施報告について

市長が市民から直接ご意見を伺い、市政に反映していくことを目的として、令和7年12月18日（木）、旧橋立中学校校区にて、第1回「地域タウンミーティング」を開催いたしました。

1、実施概要

日時：令和7年12月18日（木） 19:00～20:00

会場：橋立海青学園 第2講堂

参加人数：115名（アンケート回答数：92名 回答率：80%）

年齢分布：10～20代（5%） 30～40代（20%） 50～60代（32%） 70代以上（24%）

※無回答（19%）

2、テーマ：「加賀市をよりよくするための市長への意見・提言」

3、開催内容：

1) 市長あいさつ

2) 市長への意見・提言

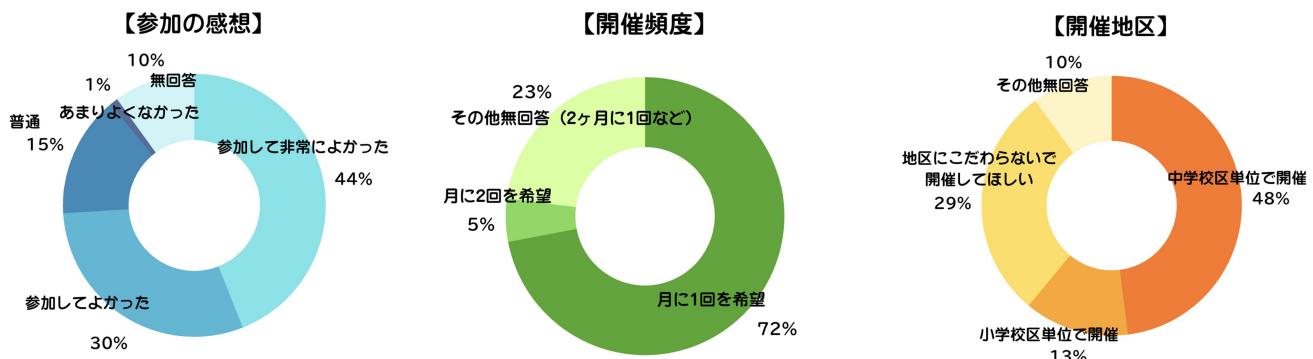
4、参加者の意見について

当日会場でいただいたご意見については、加賀市ホームページで公開しております。

1) 地区に関する意見（旧黒崎小学校跡地の活用、北前船文化等の地元資産の発信など）

2) 市をよくするための自由意見（教育、観光、医療、市政全般、道路、施設に関することなど）

5、アンケート結果



6、今後の開催日程

第2回：「政策タウンミーティング」 テーマ「地域公共交通」について

日時：令和8年1月15日（木） 午後7時から ※1時間程度

会場：市民会館3階 大ホール

第3回：「地域タウンミーティング」

日時：令和8年2月17日（火） 午後7時から ※1時間程度

会場：片山津中学校 講堂

現代 加賀九谷 作家展

2026年1月14日(水)～19日(月)
※催し最終日は午後5時閉場

[会場] 阪急うめだ本店9階 祝祭広場

[主催] 現代加賀九谷焼実行委員会(加賀九谷陶器協同組合・九谷焼伝統工芸士会)・阪急うめだ本店
[共催] 加賀市 [後援] 加賀商工会議所・北國新聞社 [特別後援] (一財)伝統的工芸品産業振興協会・日本伝統工芸士会

展示販売
入場無料

九谷の糸縁

伝統を守り、若手へ繋ぐ

MODERN KAGA KUTANI

加賀九谷陶磁器 協同組合

※表示価格は、すべて消費税を含んだ税込価格です。



02 青華吉祥果実文 香炉
径10.8cm × 高さ10cm
264,000円

■山本 長左
Choza Yamamoto

2017 宮内省より依頼を受け、青草金彩鳳凰の因蘭鉢を作成
2019 同じく、天皇 皇后 両陛下 御紋入器を
息子と共に制作
即位の礼「慶祝の儀」に和食器六品目が
平成に統一して継続使用される
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用器を作成
2022 令和四年春の叙勲 瑞宝単光章受章



01 大鉢(28面)
径39.0cm × 高さ23.5cm
1,100,000円

■山本 篤
Atsushi Yamamoto

2017 第20回 日本伝統工芸士会作品展
衆議院議長賞 受賞
平成29年度 全国伝統の工芸品公募展
内閣總理大臣賞 受賞
2018 第2回 三井ゴルフアソブ賞 受賞
石川県伝統工芸士会 会長就任
2019 宮内省より依頼を受け天皇 皇后 両陛下 御紋入器を作成
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用器を作成
2023 一般財團法人伝統の工芸品産業振興協会 理事就任
春の叙勲 瑞宝単光章受章
2025



08 花器 イッチン幾何学
径13.2cm × 高さ25.5cm
165,000円

■芦野 直樹
Naoki Asano

2013 経済産業大臣指定伝統工芸士に認定
2017 第40回伝統九谷焼工芸展にて石川県陶磁器
商工業協同組合理事長賞を受賞
イッチンという技法を使い日常食器を中心作つ
ています。NY、東京、大阪、神戸、京都、名古屋、長野、
石川、高知で作品展



09 桜花淡雪釉 摺り鶴首花瓶
径12.0cm × 高さ28.0cm
198,000円

■前田 昇吾
Shogo Maeda

1985 石川県加賀市生まれ
2006 京都伝統工芸専門学校 陶芸コース 卒業
妙泉陶房にて山本 篤氏に師事
ロクロ成形・型打ち成形を学ぶ
2015 九谷焼窯跡展示館にて解説・講導員として勤務
2018 伝統工芸士に認定される



04 四方器 手長猿
縦24cm × 横24cm × 高さ33.5cm
385,000円

■北出 太郎
Taro Kitade

2014 改組 新 第1回日展 入選
2015 第37回日本新工芸展 審査員
日本新工芸会員 受賞
改組 新 第2回日展 入選
2016 改組 新 第3回日展 入選
2017 第40回伝統九谷焼工芸展
保存会技術賞 受賞
2024 加賀温泉駅新幹線駅舎
青手竹虎図平鉢古九谷写真



05 宝石箱

■堀江祐夫子
Yuko Horie

2010 サンクトペテルブルクにおける「JAPAN ART COLLECTION IN SAINT-PETERSBURG」に出品
2011 12月スイスにて「アート・インターナショナル・チューリッヒ」に連続出展
2015 ドイツ・マンハイム「GALERIE BOHNER」に出品
日本橋三越本店にて「文流作家二人展」
九谷焼伝統工芸士に認定される
2020 第22回 日本伝統工芸士会作品展
大船渡市長賞受賞



12 波に鳥文様五寸輪花皿
径16.0cm × 高さ3.0cm
17,600円

■寺前 瑛生
Eishou Teranam

1992 皇太子殿下が当社の
「金襴手夫婦湯呑」をお求め下さる
2007 三代瑛生(英夫)は経済産業大臣から
「伝統工芸品産業功労者」として表彰
される
2019 三代瑛生(英夫)の長男伸哉が四代目
として寺前瑛生を継ぐ
2019~2024 うめだ阪急出展



13 付喪械 香炉
縦21.0cm × 横32.5cm × 高さ36.5cm
550,000円

■米谷 彰能
Akiyoshi Komeya

1955 石川県加賀市大聖寺 生まれ
2016年度 九谷焼技術研修所実習科(造形科)履修
2017年度 同上(加絵科)履修
2017 日本陶磁器新秀賞受賞
四日市萬古焼新秀コンペ2017にて
優秀賞受賞(模倣御膳)
2018 安曇野そば町アート展入選
2019 個展(笑候) ギャラリールンバランバ
金沢21世紀工芸祭 展示会「奇想の一部」
2021 四日市萬古焼新秀コンペ「どうぶつの國」
にて優秀賞受賞「クラッドマン」



06 青白釉 菓子鉢(輪繫)
径22.0cm × 高さ5.3cm
220,000円

■山本 高寛
Takahiro Yamamoto

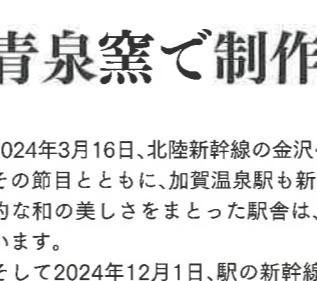
2018 平成30年度石川県伝統産業優秀技術者
奨励者表彰 受賞
2019 宮内省より依頼を受け天皇 皇后 両陛下
御紋入器を作成
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用器を作成
2022 第45回伝統九谷焼工芸展 技術賞 受賞
第24回日本伝統工芸士会作品展
秋田市長賞 受賞



07 青華幾何学文 香炉
径10.0cm × 高さ10.5cm
165,000円

■山本 大輔
Daisuke Yamamoto

2004 中部大学 経営情報学部 卒業 同年より
父・山本長左(宮内食器制作)に師事
2008 石川県立九谷焼技術研修所 実習科
加絵コース 卒業
2016 九谷焼伝統工芸士に認定
2019 宮内省より依頼を受け天皇 皇后 両陛下
御紋入器を父と共に制作
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用器を父と共に制作
令和2年度石川県伝統産業優秀技術者
奨励者表彰 受賞



08 青白釉 菓子鉢(輪繫)
径22.0cm × 高さ5.3cm
220,000円

■山本 大輔
Daisuke Yamamoto

2004 中部大学 経営情報学部 卒業 同年より
父・山本長左(宮内食器制作)に師事
2008 石川県立九谷焼技術研修所 実習科
加絵コース 卒業
2016 九谷焼伝統工芸士に認定
2019 宮内省より依頼を受け天皇 皇后 両陛下
御紋入器を父と共に制作
2020 秋篠宮殿下 妃殿下 神事用器を父と共に制作
令和2年度石川県伝統産業優秀技術者
奨励者表彰 受賞



青手竹虎図平鉢
古九谷写



赤絵許由洗鉢
古本屋寫



色絵百花手唐人物図大平鉢
古九谷写

青泉窯で制作の九谷焼大皿実物大バナーを特別展示

2024年3月16日、北陸新幹線の金沢～敦賀間が開業されました。その節目とともに、加賀温泉駅も新たな姿に生まれ変わり、伝統的な和の美しさをまとった駅舎は、訪れる人をやさしく迎えています。そして2024年12月1日、駅の新幹線改札口を出た正面の壁面に青泉窯で制作・焼成した100枚を超える陶板を組み合わせた、直径2メートルの九谷焼の大皿3枚が展示されました。その実物大バナーが、今回特別に展示。九谷焼の迫力と繊細さをぜひご体感ください。



青手竹虎図平鉢
古九谷写



赤絵許由洗鉢
古本屋寫



色絵百花手唐人物図大平鉢
古九谷写

MODERN KAGAKUTANI

九谷焼伝統工芸士会

表示価格は、すべて消費税を含んだ税込価格です。



15 香炉 竹林七賢人の図
径11.0cm × 高さ13.5cm
660,000円

■福島 武山
Buzan Fukushima
1987 日本工芸会正会員 認定
2001 伝統九谷焼工芸展大賞 受賞(合計2回)
2005 石川県指定九谷焼技術保存会会員に認定
2011 日本伝統工芸士会 副会長就任
2016 第1回 三井ゴールデン賞 受賞



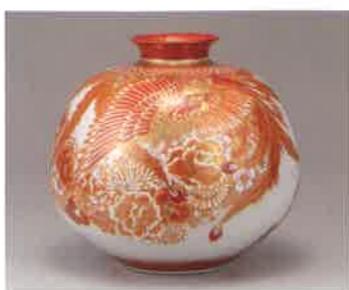
17 彫釉彩シマエナガ文陶額
縦58.0cm × 横47.0cm × 厚4.0cm
242,000円

■山口 義博
Yoshihiro Yamaguchi
1994 日展会友推挙 日展入選18回
2002 伝統工芸士に認定される
2003 現代美術展最高賞受賞
2008 日本伝統工芸展 入選
2012 石川県伝統産業優秀技術者表彰
2014 伝統九谷焼工芸展技術賞受賞
2021 伝統的工芸品産業功労賞経済産業大臣表彰
春の叙勲 瑞宝單光章受章



19 蓋のある飾壺(風神雷神小僧 金箔)
径20.0cm × 高さ31.0cm
935,000円

■美山 富
Tomi Miyama
1970 文化勲章受章 故浅瀬五十吉先生門下として師事
1993 日本現代工芸展 会員賞受賞
伝統九谷焼工芸展 優秀賞
日展 特選受賞
2001 経済産業大臣認定九谷焼伝統工芸士
2017 経済産業大臣功労者表彰
2022 秋の叙勲 瑞宝單光章



14 赤絵瑞鳥花器
縦34.0cm × 横34.0cm × 高さ32.0cm
473,000円

■福田 良則
Yoshinori Fukuda

日本伝統工芸士作品展 入賞
創造美術展 東京都知事賞
石川県伝統産業優秀技術者 県知事表彰
創造美術展最高賞 大賞受賞
九谷焼伝統工芸士会 会長就任
春の叙勲 瑞宝單光章 受章



16 陶影「勢至菩薩」午年の守り本尊
縦14.0cm × 横14.0cm × 高さ22.0cm
385,000円

■宮本 直樹
Naoki Miyamoto

1964 朝倉彫塑熱入門
1967 日展影塑部門入選
1972 現代美術展入選 受賞
1982 新規樹社入選 受賞
2010 第10回日本伝統工芸士会展 受賞
2016 第39回伝統九谷焼工芸展 受賞(技術賞)
日本陶影会会員
九谷焼伝統工芸士



18 獅子図菓子鉢
径22.0cm × 高さ8.0cm
440,000円

■山中 國盛
Kunimori Yamanaka
2002 日本現代工芸美術協会会員就任
現代工芸賞 会員賞 受賞
2012 伝統九谷焼美術展大賞受賞
石川県美術館賞上 他賞2
2013 石川県立九谷焼技術研修所 講師に就任
2017 小松市卓越技能賞
2022 九谷焼技術保存会準会員



20 水指 「春待ち」
縦14.0cm × 横14.0cm × 高さ18.0cm
308,000円

■高 聰文
Toshihumi Taka

2011 日本伝統工芸展入選
2015 ウィーン、ドバイ、パリ、広州にて個展開催
ウイーンマスター・ビースコレクションによる
アジア人初招待される
2018 景徳鎮九谷巨匠展に招請
2019 日本伝統工芸士認定



21 扁壺 春模様
縦27.0cm × 横30.0cm × 奥行8.0cm
330,000円

■宮本 耕
Akira Miyamoto

2005 通商産業大臣指定 伝統工芸士に認定される
2016 中部経済産業局長賞受賞
(株)ソーエー社屋陶板制作
2017 県立中央病院陶板制作
2019 日本伝統工芸士会功労者表彰受賞
2021 日本伝統工芸士会作品展にて東武百貨店賞受賞
2024 伝統的工芸品産業功労賞経済産業大臣表彰
全国各地で個展多数開催 現在に至る
日展作家・石川県陶芸協会会員・伝統工芸士



23 水指 風華
径16.5cm × 高さ17.0cm
253,000円

■浅蔵 一華
Kazuka Asakura

1996 金沢美術工芸大学 大学院産業デザイン専攻修了
五十吉深香陶窯にて創作活動開始
個展・グループ展を中心に活動
2015 伝統工芸士・九谷焼加納部門に認定される
金沢城・兼六園大茶会 工芸作品公募展
北國新聞社長賞
2025 第49回 伝統九谷焼工芸展 勇助賞
金沢城・兼六園大茶会 工芸作品公募展 勇助賞



25 焼締色絵淡墨下絵鉢揃
径21.5cm × 高さ5.0cm
770,000円

■木戸 優紀子
Yukiko Kido
2005 「妙泉陶房」山本長左先生(宮内庁御用達作家)に師事
2019 伝統工芸士認定(加納部門)
2025 第48回伝統九谷焼工芸展 北國新聞社賞
第65回石川の伝統工芸展 石川県知事賞(最高賞)
第72回日本伝統工芸展 入選
九谷・新世代の息吹 美美市公募展 皇賞(奨励賞)



27 葡萄蒔絵白中壺
径6.8cm × 高さ6.8cm
396,000円

■針谷 祐之
Masayuki Hariya
2016 全国伝統的工芸品公募展
内閣總理大臣賞受賞
2017 日本伝統工芸士作品展
日本伝統工芸士会会長賞受賞
2020 山中漆器伝統工芸士会 会長就任
2021 ゴールデン根付アワード グランプリ受賞
2024 春の叙勲 瑞宝單光章受章



22 八寸花瓶白磁 蕊
径16.0cm × 高さ24.0cm
220,000円

■宮腰 徳二
Tokaji Miyagoshi

1991 加賀市妙泉陶房入所
2006 伝統工芸士認定 九谷焼成形部門
2012 独立



24 飾壺 色絵モザイク文
径24.0cm × 高さ20.0cm
140,800円

■三ツ井 達也
Tatsuya Mitsui

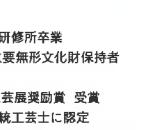
1972 石川県小松市生まれ
1998 京都学園大学 卒業
1999 京都府立陶工高等技術専門校 卒業
地元石川に戻り 父三代為吉に師事
2010 伝統工芸士 認定



26 金白金細描彩花器
径13.0cm × 高さ27.5cm
275,000円

■石富 俊二郎
Sunjiro Ishitomi

1975 石川県金沢市生まれ
1997 石川県立九谷焼技術研修所卒業
吉田美統氏(国指定重要無形文化財保持者
胎裏金彩)に師事
2016 第39回伝統九谷焼工芸展奨励賞 受賞
2021 経済産業大臣指定伝統工芸士に認定
2023 第25回日本伝統工芸士会作品展 優秀市長賞受賞





ごあいさつ

加賀市長
山田 利明

本年も阪急うめだ本店の会場におきまして、作家及び関係各位のご尽力のおかげで本展覧会が開催されますことに心から感謝を申し上げます。

石川県加賀市は九谷焼発祥の地であり、先人が磨き上げた伝統の技や精神が脈々と受け継がれております。また九谷焼のほか、山中塗や特色の異なる3つの温泉地、豊かな自然と日本海の幸、大聖寺十万石の城下町に由来する食文化など深みのある文化が根付いています。

北陸新幹線加賀温泉駅の隣接施設「ゆのまち加賀」では、加賀九谷陶磁器協同組合の皆さまのご協力で完成した直径2メートルの九谷焼の大皿をはじめとした数多くの工芸作品が織りなす魅力的な空間で皆様をお迎えいたしております。

本展覧会では、多くの皆様に本市に受け継がれた伝統工芸の魅力やその作品に込められた作り手の情熱、卓越した技術の輝きを感じていただくとともに、次の機会には、関西の奥座敷としても知られ、お車でもアクセスのしやすい加賀市にぜひお越しただけることをご期待申し上げます。



ごあいさつ

日本伝統工芸士会 副会長
石川県九谷焼伝統工芸士会 相談役
加賀九谷陶磁器協同組合 理事長
山本 篤

今年も阪急うめだ本店様の多大なるご支援により、個性ある作品を多数展示いたしました。多彩な技法の広がりが九谷焼の大きな魅力ですが、祝祭広場に展示場所を変更し新しい演出が施された会場では、ご来場の皆様の目をこれまで以上に楽しませてくれるものと存じます。準備を進めていただきました関係各位に心より感謝申し上げます。

新たに開業した北陸新幹線「加賀温泉駅」「小松駅」、特に加賀温泉駅舎内には、若手とベテラン作家が一体となって制作した古九谷写しの大皿を埋め込んだ壁面があり、高く評価をいただいております。会場でもその意匠を実物大に再現したバナー等をご覧いただける工夫をいたしました。

九谷焼発祥の地として加賀の地が更に注目を集め、関西圏にお住まいの皆様が北陸への旅をご計画いただくことは、地震と水害から復興途中の能登半島と石川県への大きな支援になります。これからも九谷焼と共に北陸、石川へのご関心をお寄せいただきますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。



名窯 青泉窯再生プロジェクト～伝承の「型打ち技法」～

古九谷から伝承されている伝統的「型打ち技法」。青泉窯で明治から昭和にわたって眠っていた貴重な「型」を使用し、若手から重鎮までの現代の九谷焼作家によって、意欲的な新作が生まれました。普段使いに取り入れやすい作品の数々をぜひご覧ください。

青泉窯とは

明治元年に初代宇与門によって加賀市栄谷の地に北出窯として興され、後に現代の九谷焼に大きな影響を与えた北出塔次郎や北出不二雄を輩出することになる、九谷焼の歴史において重要な窯元です。2014年の北出不二雄の他界後、青泉窯は休止状態が続いていますが、加賀九谷陶磁器協同組合や地元有志の集いにより、現代における加賀九谷焼文化の発信基地として再生プロジェクトがスタートしています。

青泉窯の「型」から
生み出された
新作を販売

展示販売 受注制作

白磁に出展作家による絵付けをした作品を販売予定。
●受注制作…白磁作品の納期は約3ヶ月程、絵付作品の納期は約6ヶ月程になります。会場にてご相談承ります。



会場でアンケートに
お答えいただいた
各日先着100名様

**オリジナルクリアファイル
1枚プレゼント(各日2種類)**

※絵柄はお選びいただけません



Hankyu

阪急うめだ本店
〒530-8350
大阪市北区角田町8番7号
電話 (06)6361-1381

連日午前10時～午後8時
(阪急メンズ大阪、レストランなど一部売場を除く)
※営業時間が変更になる場合がございます。

「加賀市環境美化センター運転管理業務」の 公募型プロポーザルの選考結果について

加賀市環境美化センターの運転管理業務の委託事業者を公募型プロポーザル方式により事業者の募集を行い、下記のとおり優先交渉権者を選考しました。

1. 選考結果

神鋼環境メンテナンス(株)を優先交渉権者に決定
(神戸市中央区)

【参考】

(1) 応募者数 1 社

(2) 選考委員会日時及び場所

- ・日時 令和7年12月19日（金）13:30
- ・場所 加賀市環境美化センター2階 研修室

2. 履行期間

・令和8年4月1日～令和13年3月31日まで（5年間）

3. 今後の予定

- ・1月～2月 優先交渉権者と契約締結に向けた協議
- ・3月 契約締結